

MORI のめざめ

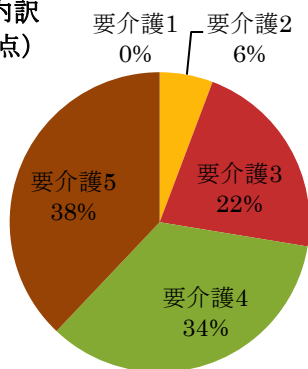


[発行元] 社会福祉法人 奉優会
港区立特別養護老人ホーム 白金の森
 [編集] 白金の森 事務課 芦田
 [お問い合わせ先] 03-3449-9611(代表)
 [HPアドレス] <http://www.foryou.or.jp>

第7号 平成24年8月発行

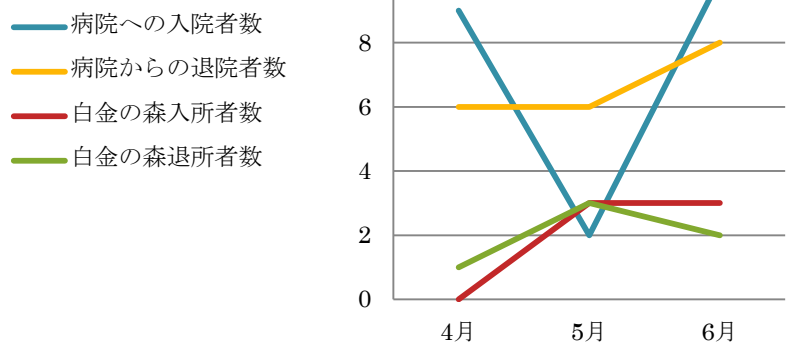
平成 24 年 4・5・6 月を振り返って、ご報告いたします。

①特養入所者 介護度別内訳 (6月末時点)



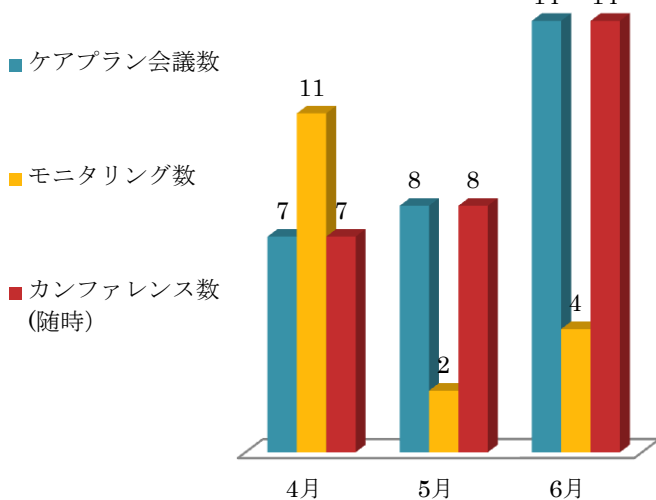
要介護度 5 と 4 で全体の 72% を占めます。
 内、経管栄養者は 15 名です。

②入退院・入退所者数



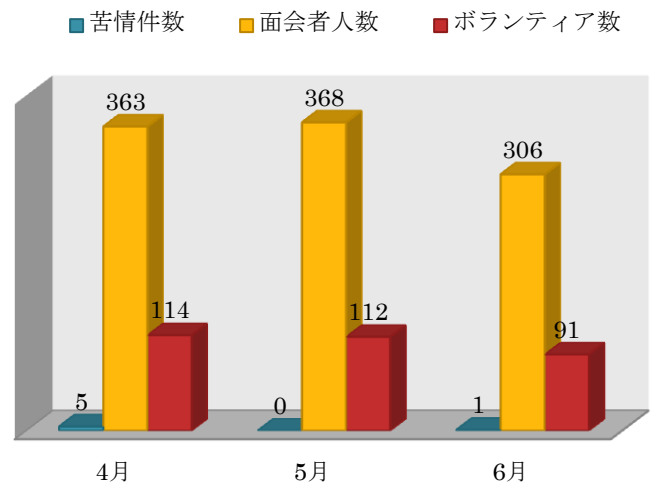
病院への入院者数は、5月は減少しましたが、6月にはまた増加しました。

③ケアプラン関連事項



会議数など、順調に推移しています。

④その他



面会者数は3カ月平均 346 人でした。
 ボランティアは毎月平均して 106 人来所いただきました。

NEW!!

6月から新たに
開始した取り組み

経管栄養のご利用者様を対象に、動画を撮影しました。
 これは、ご家族が面会時だけでは知ることができない生活の様子を撮影したものです。
 お誕生日を迎えられる月に、ご家族にお送りいたします。



2012 納涼祭



8月4日(土)に第2回目の開催となりました、「2012 白金の森納涼祭」。前年よりもパワーUPし、たいへん盛り上がりました。屋台の食べ物や、ゲームで楽しいひと時を過ごして頂きました。



BAAAN!!

射的では、球が見事に命中。当たったときは、「ヤッター」と皆様とても嬉しそうでした。

最後は東京音頭で♪



日本舞踊のボランティアの方に来ていただきました。最後は、職員とご利用者様も加わってみんなで盆踊りをしました♪





24年度重点施策 その①～栄養編～



～メニュー～

・焼き椎茸ご飯・はっちい団子味噌汁・鱈とろろ揚げ野菜
あんかけ・大根のピリ辛炒め・わかめの酢の物

事業計画で、二つめの柱は「あるく」。歩行に不安のある方は歩行訓練などを行ない、歩けるように…。リハビリ活動の取り組みをご紹介します。



機能訓練の一つ、歩行訓練を行なっています。
～歩行訓練とは？～

歩けるように練習するというのはもちろんですが、歩けるようになるのが難しい人でも、全身の状態を良くするという目的で行なうこともあります。

座ったままでは体幹(胸、お腹、背中)の筋力を必要とせず弱くなり、それが内臓の動きも悪くします。それと骨に体重などの負荷が掛からないと、骨密度が低下し骨折しやすくなるリスクも高くなります。そのような状態を予防・改善する意味でも、歩行訓練を実施しています。

作業療法士 白井

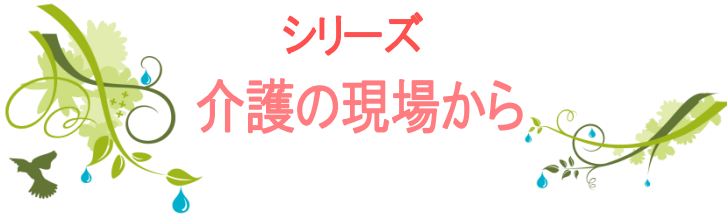
24年度事業計画で、柱のひとつである「たべる」。お食事が食べられない方は食べられるように…。食欲も出る、今月の郷土料理をご紹介します。8月は佐賀県のメニューでした♪

「はっちい団子味噌汁」佐賀県の他にも福岡、長崎、熊本でも親しまれているものです。小麦粉で作った平たい団子(麺)を、味噌または醤油仕立ての汁に入れたものです。ごぼう、にんじん、しめじ、豚肉などが入り、豚汁やすいとんに似ています。佐賀県は質実剛健の気風があり、食生活にまで強く影響を与え「だご汁」や「茶粥」など質素なものが多くあります。なかでも、このだご汁は突然の来客のもてなしや、慶事の宴会の席で食され、当時の唯一の動物性タンパク質である鯨、ネギ、そして小麦粉を練り上げた素朴な味です。

管理栄養士 児玉

24年度重点施策 その②～リハビリ編～





シリーズ 介護の現場から

～高齢者の疾患と症状の基礎知識～

高齢者の身体症状と 疾患の理解とケア

高齢者が何らかの病気にかかった時、局所症状を示すよりも全般的な活動性の低下が全面に出ることが多い。「何となく元気がない」という兆候はあるが、原因疾患を示す局所症状がわからないまま病状が進行し、後に重大な結果に至ることも珍しくない。活動性が変化したかどうかは、ある程度の期間にわたる観察を必要とするため、「いつもと違う」という気付きが必要である。

第1回目 脱水症

「高齢者が元気をなくしたら、まず脱水を疑え」といわれるほど多いので、注意が必要である。

《原因》

- * 体内の水分貯蓄の減少
- * 口渇を感じる事が少ない為、水分をとらない。
- * 老年期に多い頻尿のわずらわしさから、飲水量を制限している。

《症状》

全般的な活動性の低下が顕著で、脱水の進行に伴って意識障害が加わり重度化していく。何となく元気がないため、うつらうつらするようになり、会話もちぐはぐで焦点のぼけた断片的内容となっていく。同時に発熱があり、皮膚は乾燥して光沢を失い、舌の乾燥も見られる。そのほか、頭痛やけいれんなどが見られることもある。

《ケア》

- * 早期発見：日常の生活を観察する。舌の乾燥は、信頼できる症状である。
- * 水分補給：水分摂取の必要性を説明し、生活に合わせた摂取方法や食事内容を検討する。
- * 微熱・発熱時は、水分を多く摂るよう援助する。

参考書籍：『介護教育 基本テキスト』日総研出版

ケアマネージャーの ひとりごと

Vol. 6 「思い出の共有」



成田 寛一郎



新入社員とご利用様様の
“今”をお伝えします。



介護1課 竹川 友美

先日、ロンドンオリンピックが閉幕しました。日本の獲得したメダルは過去最多の38個。入居者の皆様も連日メダルラッシュの報道に大興奮。オリンピックは皆様にとって特別なようで、普段あまり見せない表情を見せて下さいました。

一緒に応援することで自然に会話が弾み、過去の思い出も蘇ってきたようです。特に東京オリンピックの話題になると、「あの頃は若かったわ」「私もバレーボールをやっていたのよ」など、今まで伺っていなかったことを話して下さいました。私は密かに入居者様からのニーズ発見数と日本のメダル数とを競っていたのですが、僅かに及びませんでした。

しかし、皆様の素敵な思い出を共有する貴重な期間になりました。

こんにちは！

白金の森で働き始めて約1年半になりました。この場所で多くの入居者の方々と過ごす日々は1日も同じ日がなく、充実しています。多くの事を教えてくださり、時には元気をくださり、時には叱咤激励をしてくださる皆様に、毎日感謝の思いでいっぱいです。介護職員としてはまだまだ駆け出しで、カメのようにゆっくりとした足取りですが、大好きでたまらない入居者の方々の笑顔エネルギーに、これからも精一杯頑張ります。

